

筑大生命院第 24-30 号
令和 6 年 5 月 13 日

各大学関係研究科長 殿

筑波大学大学院

理工情報生命学術院長

秋山 茂樹

(公 印 省 略)

令和 6 年度単位互換制度による公開臨海実習の実施について（依頼）

このことについて、本学下田臨海実験センターにおいて別紙実施要項のとおり実施いたします。

つきましては、貴研究科所属学生に周知いただき、参加希望者がありましたら、必要書類を 令和 6 年 7 月 8 日（月） までに本学生命環境エリア支援室大学院教務宛てに送付願います。

なお、参加希望者が定員を超過した場合には、当方において選考し、参加者を決定いたしますので御了承願います。

本件に関する問い合わせは、下記へお願いします。

記

（参加手続きに関する問い合わせ先）

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学生命環境エリア支援室
大学院教務 TEL 029-853-4570、7808

（実習内容等に関する問い合わせ先）

〒415-0025 静岡県下田市 5-10-1
筑波大学下田臨海実験センター
和田 茂樹（助教）

E-mail: swadasbm@kurofune.shimoda.tsukuba.ac.jp

公開臨海実習実施要項

- 1 授業科目 マリン生態環境科学（筑波大学1単位）
- 2 担当教員 和田 茂樹（筑波大学 助教）、Sylvain Agostini、Ben Harvey
- 3 実施場所 筑波大学下田臨海実験センター
〒415-0025 静岡県下田市5-10-1 電話 0558-22-1317 Fax 0558-22-0346
（伊豆急下田駅より「石廊崎・下賀茂方面行」バスで約5分、「鍋田口」バス停下車、徒歩5分）
- 4 実施期間 令和6年9月16日（月）～ 同年9月19日（木） 4日間
- 5 対象学生 大学院生（学部生も受講可（単位は出ません））
- 6 定 員 5名
- 7 実習タイトル 「海の生物と環境の相互作用」
- 8 実習内容

海洋の生態系のメカニズムは、生物同士および生物と環境の間の相互作用によって成り立っている。これらの相互作用を解析するためには、生物と環境パラメーターの解析手法を習熟し、野外調査に応用できる能力が求められる。

本実習では、海洋環境を把握する際の基礎的なデータとなる、電導度-水温-深度 (CTD: Conductivity-Temperature-Depth) 観測を実施し、海洋観測の基礎的な技術と解析手法を習得する。また、底泥の採取をドレッジやスミスマッキンタイヤー、エックマンバージ採泥器を利用して行い、海底の生物相や生物多様性、汚濁環境下における指標生物などの同定およびカウントを行い、生物相の観点から見た生態系の変化を解析する。さらに、潮間帯における生物採取および観察を行い、帯状分布の解析を実施する。潮間帯上部から下部にかけて観察される生物相が、潮位の変化や地形、その他の環境要因によって変化する様子を解析・観察する。

9 実習内容キーワード

CTD 観測、採泥、潮間帯

10 実習日程

集合場所: 宿泊棟食堂（17時を厳守すること）

9月16日（月）

17:00	18:00	19:30-22:00
講義	夕食・入浴	講義・実習

9月17日（火）

7:30	8:00	12:00	13:00	17:30	19:30-22:00
朝食	実習	昼食	実習	夕食・入浴	実習

9月18日（水）

7:30	8:00	12:00	13:00	17:30	19:30-22:00
朝食	実習	昼食	実習	夕食・入浴	実習

9月19日（木）

7:30	11:00
朝食・清掃	解散

11 参加費用 ※受付時に納付

宿泊費及び食費(3泊4日、8食分) 6,200円

12 提出書類

(1) 特別聴講学生願書(別紙様式)

(2) 研究科長の推薦書(別紙様式)

※国立大学の学生で単位互換制度がない場合には、文例とし、任意の書式で提出してください。

(3) 学生教育研究災害傷害保険の加入証明書または保険料分担金の領収書(写)

※既加入者は上記書類と同時に提出してください。なお、未加入者は受け入れ内定後必ず加入し、令和6年8月23日(金)までに生命環境エリア支援室に提出してください。

13 授業料の徴収について

不徴収(各大学から理工情報生命学術院長宛てに指定の推薦書:上記(2)を提出してください)。

14 申込み先

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学生命環境エリア支援室大学院教務 電話 029-853-4570、7808

15 受付締切日 令和6年7月8日(月)(必着)

16 受講生選抜基準 書類選考

17 選抜結果連絡方法 在籍する大学を通して本人に連絡します。

18 下田臨海実験センターまでの順路

伊豆急行線『伊豆急下田』駅下車、徒歩約30分、タクシーでは約5分。バスでは、駅前のバスターミナルより石廊崎、下賀茂方面行きに乗り約5分、『鍋田口』で下車して徒歩約5分。

※筑波大学の学生は詳細を掲示等で確認のうえ、7月8日(月)までにTWINSで各自履修申請を行い、提出書類を大学院教務に提出すること

特別聴講学生願書

筑波大学大学院理工情報生命学術院長 殿

大学・研究科名 大学大学院 研究科
 課程・専攻・学年 課程 専攻 年
 学 籍 番 号
 フ リ ガ ナ
 氏 名 印
 生年月日・性別 年 月 日 (男・女)

下記のとおり、貴学術院の授業科目を履修したいので、関係書類を添えて申し込みます。

記

1 履修期間 令和6年9月16日(月)～同年9月19日(木)

2 履修授業科目・単位及び担当教員等

授業科目	単位	担当教員	学期
マリン生態環境科学	1単位	和田 茂樹 アゴスティーニ シルバン レオナー ジョージ Harvey Benjamin Paul	夏季休業中

3 連絡先等

申込者現住所	〒 携帯電話番号 E-mail (できれば携帯アドレス):
保護者連絡先	氏名: (続柄:) 住所: 〒 TEL
在籍大学の指導教員	所 属: 氏 名: 連絡先: TEL
☐ 本履修願について指導教員の了承を得ました。(□に✓を入れてください)。	

※履修希望の学生は、学生教育研究災害傷害保険（もしくはこれに相当する保険）に加入していること。

※健康状態に不安がある方は、事前に下田臨海実験センターにお問い合わせください。

推 薦 書

下記の者は、貴学術院が令和6年度に開講する単位互換制度による公開臨海実習

「マリン生態環境科学」の特別聴講学生として受講させることを適当と認め、推薦します。

なお、授業料については不徴収としていただくようよろしくお取り計らい願います。

記

所属大学・研究科	大学 大学院	研究科
課程・専攻・学年	課程	専攻 年
学 籍 番 号		
フ リ ガ ナ		
氏 名		
生年月日・性別	年 月 日	男 ・ 女

筑波大学大学院理工情報生命学術院長 殿

令和 年 月 日

研究科長名

印

受講者注意事項

公開臨海実習『マリン生態環境科学』

- 1 受付日時 令和6年9月16日(月) 16:30~17:00
- 2 受付場所 筑波大学 下田臨海実験センター 事務室
- 3 授業料 不徴収
- 4 参加費用 6,200円(食費及び宿泊費)
当日、受付時に納入願います。
- 5 携行品 (1) 筆記用具(ノート, 鉛筆等)
(2) 室内用上履き(スリッパ, サンドル等)
(3) 洗面用具
(4) 健康保険証
(5) 健康観察記録表
- 6 その他 (1) 受講を取消す場合には、9月10日(火)までに、
下記へ必ず連絡願います。
【下田臨海実験センター事務室】
TEL 0558-22-1317 FAX 0558-22-0346
(2) 受付時間は厳守してください。(遅れる場合には、連絡願います。)
(3) 期間中、緊急の場合を除き電話の取次ぎはいたしません。
なお、午後5時以降午前8時30分までの間の緊急連絡は下記へ
願います。
0558-22-6861(宿泊棟ラウンジ)
0558-22-6803(講義実習室)
(4) 洗濯機・衣類乾燥機は、宿泊棟に設置してあります。
(洗剤は各自持参してください。)
(5) 貴重品は身につけるか、事務室に預けてください。

交 通 手 段

1 下田まで

- ① 特急「踊り子号」，「サフィール踊り子号」〔東京駅始発（新宿，池袋駅始発もあり）〕

⇒ 伊豆急下田駅まで直通 約2時間40分～50分

- ② 新幹線及び在来線

⇒ 熱海駅で乗換え，伊豆急下田行き普通電車で熱海から約1時間40分～50分

2 伊豆急下田駅からセンターまで

- ① タクシー

⇒ タクシー乗り場から約5分（900円位）

※ 「鍋田^{なべた}の筑波大学」と言ってください。

- ② バス

⇒ 駅前2・3・4番乗り場から，「石廊崎／下賀茂／仲木方面行き」で約10分，「鍋田口」バス停で下車，海岸に下りる道を歩いて約5分

- ③ 徒歩

⇒ 駅から約20分～30分（約2km）〔案内図参照〕

下田臨海実験センター案内図

伊豆急下田駅～センター

○徒歩：図の矢印に従って約30分

○タクシー：5分（約900円）

行き先は「ナベタの筑波大学」と言う。

○バス：10分 石廊崎、下賀茂、仲木方面行きに乗り、駅から3つ目の鍋田口（ナベタグチ）バス停で下車する。

